



ほふる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
(カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
【今月の一冊】 デフレの正体
藻谷浩介 著 角川書店
ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2012年2月1日 Vol. 112
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役 渡邊 敏徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

あなたの“天職”は？

小さい頃の「夢」はなんでしたか？プロ野球選手やパイロット、医者さんなどなどいろんな夢を持っていたと思います。最近の若者は夢が持てないと耳にしますが、夢を描きづらい時代になっているのもうなずける気がします。

心理学者のエイミーと仲間の研究者たちによると、人は仕事を「労働」、「キャリア」、「天職」の3つのうちの1つとして捉えていると言います。

「労働」は基本的に退屈なものであり、個人の充足感よりも金銭的な報酬に関心がおかれています。朝、仕事に行くのは「そうしたいから」というよりも、「そうしなければいけないから」です。仕事を「労働」と捉えている人たちは、仕事に対して給料以外には、何の期待も抱いていません。そして金曜日の夜や休みを心待ちにしています。

それに対して仕事を「キャリア」と捉えている人たちは、お金や昇進といった外的要因や、権力や特権を獲得することが働くための主な動機となっています。彼らは出世して職業上の階層を上がっていくことを望んでいます。助教授から終身在任権を持つ教授になること、教師から校長になること、副社長から社長になること、編集長のアシスタントから編集長になることを望んでいるのです。

働くことを「天職」と感じている人々にとっては、働くこと自体が目的です。給料や昇進もたしかに重要ですが、これらの人たちは働きたいから働いているのです。自己の成長や向上などの内的な動機付けから仕事をし、精神的に大変充実しています。彼らの目標は“自分の欲求”に深く根ざしています。やっていることに情熱を持ち、仕事から大きな充足感を得ています。仕事は退屈なことではなく、特権だと考えているのです。

私たちは仕事を「労働」、「キャリア」または「天職」のうちのどのよう捉えているのか見直してみるのもいいかもしれませんね。私にとっての意義あること、楽しいこと、強みや得意なことは何だろうか。子どもの頃にあった素直なところで人生の道筋を考えてみたいと思います。



◇ ホームページをリニューアルしました！◇
<http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

具体的な目的

第180回通常国会が、2012年1月24日に召集され、会期は6月21日までの150日間。消費税をメインに「社会保障と税の一体改革」一色の国会がスタートしました。

こんな話を耳にした。

「兄弟でロバを引いて歩いていたら、無駄なことだね、と言われたので、兄が乗ることにした。しばらくしてすれ違った人から、あの兄は年少者に対する愛情がないと非難されたので、遠慮する弟を無理に馬上に押し上げたら、礼儀を知らない弟だと、また人から叱られた。それではと、二人で仲良く乗ったら、今度は動物虐待だと騒がれたので、2人でロバをかついで帰ってきた」。

何故この兄弟はこのような行動をしなければならなかったのでしょうか。この兄弟はロバをどのように利用するのか、どんな風にロバを愛するのか、人としてどのように礼儀を重んじるのか、どのように年少者をいたわるべきか、所謂「具体的な目的」が決まっていなかったことが原因なのではないでしょうか。目的(目標)さえ具体的に確立しておけば、このような個々の状況判断において右往左往することはなくなります。最大の無駄とは何か。それは「目的に合致しない結果」です。私たちの未来の日本をどんな国にするかを決めずして、希望が持てる未来の社会は望めないのではないのでしょうか…。



【座右の銘にしたい名言】



夢見ることは、人間にとって大事なことです。心にも大事だし、体にとっても大事なのではないのでしょうか。

(五木寛之 作家)